

第5回 EBPM推進委員会（令和7年2月21日）
議事要旨

【開催日時】

令和7年2月21日（金）14時00分～14時50分

【場 所】

オンライン開催

【出席者】

（構成員） 阪田 渉 内閣官房副長官補（内政担当）を始めとするEBPM推進委員会構成員

（関係者） 各府省会計課長等

【議 事】

1. 今後の取組の進め方
2. 内閣府におけるEBPMアクションプランの取組
3. 「行政事業レビューシート 政策効果の測定と点検・改善のポイント」の改定
4. 政策ダッシュボードの取組
5. 会長発言

【議事の経過】

1. 今後の取組の進め方

内閣官房行政改革推進本部事務局から、今後の取組及びAI等の技術の活用について、説明が行われた。（資料1-1、資料1-2）

2. 内閣府におけるEBPMアクションプランの取組

内閣府経済社会システム担当から、EBPMアクションプランの取組について、紹介が行われた。（資料2）

3. 「行政事業レビューシート 政策効果の測定と点検・改善のポイント」の改定

総務省行政評価局から、「行政事業レビューシート 政策効果の測定と点検・改善のポイント」の改定について、紹介が行われた。（資料3-1、資料3-2）

4. 政策ダッシュボードの取組

内閣官房デジタル行財政改革会議事務局及びデジタル庁から、政策ダッシュボ

ードの取組について、紹介が行われた。（資料 4-1、4-2）

5. 会長発言

会長である阪田内閣官房副長官補から発言があった。要旨は以下のとおり。

- 昨年11月の秋の年次公開検証において、「EBPMの推進を担う人材の育成の在り方」について議論が行われ、EBPMの推進を担う人材として、「データの知見だけでなく、自らの政策立案の経験も踏まえて、データの礎となるメカニズムを考え、判断できる能力を持つ」ことが重要とされた。

また、昨日開催されたデジタル行財政改革会議において、総理から、行政事業レビューを活用した取組など政府全体のEBPMを推進すべき旨の指示があったところである。

- 1点目。各府省庁の幹部・管理職には、時代の変化に機動的・柔軟に対応する行政を実現するために、それぞれの部局において、政策立案・意思決定プロセスの抜本的な改革を推進してほしい。

特に、若手職員が政策立案に関与している実感を持ち、意欲や能力の向上につながられるよう、心理的安全性の確保された環境を作り、良好な人間関係を築くこと、現場のニーズ・課題を踏まえ事業を進めることが重要である。そのためにも、レビューシートを関係者とのコミュニケーション・ツールとして、より一層活用していただきたい。

- 2点目。各府省庁の政策立案総括審議官には、EBPM推進の責任者として、引き続き行政事業レビュー、政策評価、経済・財政一体改革といった、各府省庁内のEBPMの一連の取組の連携を進めるようお願いしたい。

そのためにも、EBPM推進部局を司令塔と位置付け、適切な人材配置等を行い、組織全体の意識改革に取り組んでもらいたい。

また、政策立案と行政事業レビューを一体的に取り組むことは、EBPMの素養を身に付け、政策効果を高めるための能力向上につながり、霞が関の人材育成にも資することに留意し、取組を進めていただきたい。

- 3点目。内閣府の経済・財政一体改革でのEBPMの取組は、府省の枠を超えた多年度の重要政策・計画を対象とすることから、EBPMの実践のためには更なる工夫や知見が必要となる。

このため、行革事務局や内閣府経済社会システム担当などにおいては、各府省庁の負担軽減と政府全体の政策効果向上に向けて、研修機会の提供等、各府省庁

への伴走支援を更に実施するとともに、政策レベルでのEBPM実践のノウハウ蓄積に連携して取り組んでいただきたい。

以上、3点よろしく願います。

以上